大田区探歩〈10〉

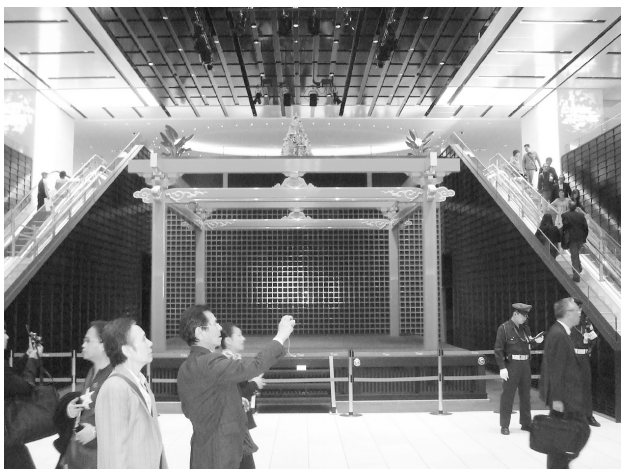
はねだくうこう
羽田空港
国際線ターミナル

皆様、新年明けましておめでとうございます。今年も大田区の魅力ある場所を引続きご紹介していきますので、何卒よろしくお願いいたします。

さて、今まで大田区探歩でご紹介した場所は、どちらかといえば大田区の中でも通な場所、しかもどちらかといえば、年配の方ごのみの渋い場所が多かったように思いますが、今回は、むしろヤングの方にもお勧めの場所です。（ヤングなどという時点で筆者もかなりおじさんです。）大田区が誇る今や世界への玄関口となった羽田空港の国際線ターミナルへ散歩に出かけました。

言わずと知れた羽田空港は、東京都大田区の東京湾沿いに位置し、昨年までは国内航空の拠点として主に利用されてきました。これが **2010** 年 **10** 月 **21** 日、新国際線旅客ターミナルがオープンしたことにより、イメージとしては「突然便利になった」ように感じられます。アジアをはじめとする訪日外国人旅行者の増加や、羽田空港の国際線就航を期待する声が、今回のオープンの背景にあるようです。ちなみに羽田空港の正式名称は東京国際空港と言うそうです。

モノレールを降りてまず、最初に思ったことは、すーっつかり新しくなってしまったという驚きです。以前の面影は影も形もありません。旧国際線



ターミナルを利用したことがある方は、皆様感じていたことだと思いますが、狭くごみごみしたイメージで、お店もなく不便、外国の方がまず最初に通る玄関口として、なんとなく申し訳ないような、肩身が狭い思いをしたのを覚えています。

新しくなったターミナルは、多分半数以上は飛行機を利用しない観光客でにぎわっています。エレベーターの向こうに広がるなにやら楽しそうな

空間を探検してみましょう。時代劇のセットのような江戸時代風にデザインされた「江戸小路」（**4**階）は、外国人でなくても、そのテーマパークのような雰囲気に思わず笑顔になります。ダイナミックに広がる大屋根の下の少し控えめな照明の中で、ちょうちんがぶらさがり、休憩場所には小粋な赤い傘が広げられています。それぞれのお店も何と言うか、すごくこだわっています。商業施設のコンセプトが、羽田 Only One だそうですが、実にそれも納得、T シャツやさん、お土産屋さん、どれも和のテイストが取り上げられていて、一般的な観光地のいわゆる、ださいお土産とは違い、洗練された感じです。

さらに上の階に上がってみましょう。

5階は**4**階の江戸小道とはがらりと違い、近代的な未来のような空間が広がっています。TOKYO POP TOWN と称する **5** 階は、日本の代表的文化であるアニメやキャラクターのショップ、カーレースやプラネタリウムなどの体感型の施設が立ち

並びます。筆者は思わず、KITTY ちゃんの人形焼付きのソフトクリームを食べてしまいました。

本格的な？アラレちゃんの T シャツや、ジブリのぬいぐるみ、科学（サイエンス）をテーマにしたグッズを扱う店など、飛行機の待ち時間では足りないぐらい見る場所がいっぱいあり、中年の筆者も時間が経つのを忘れてしまいました。

短い放映時間なのが少し残念ですが、空港にプラネタリウムがあると言うのは、完全に今までの空港の概念から逸脱していて、まさに、お子さまから大人、国籍を問わず楽しむことができるエンターテーメントに生まれ変わったと思います。

これは、という観光スポットがなかなかあがらなかった大田区ですが、今回の新国際ターミナルのオープンで、観光の目玉となるのではないでしょうか。アクセスも便利で都心まで**15**分で行けるということもポイントです！飛行機に乗らなくてもぜひ一度散策してみてはいかがでしょうか。

筆者：株式会社桂川精螺製作所　大嶌憲太郎